

ブラジル -緩和ペースを減速-

<政策金利を7.50%に引き下げ>

10月25日（現地時間）、ブラジル中央銀行（以下、BCB）は金融政策委員会で政策金利を0.75%引き下げ7.50%にすることを決定しました。前回会合で示唆したとおり、金融緩和ペースを前回の1.0%から減速しました。利下げは9会合連続、全会一致で決定されました。

声明文では引き続き「今後の状況が委員会の想定する基本シナリオどおりになるならば、金融緩和ペースを鈍化させることが適切と考える」としています。

<ブラジルレアルの動向>

テメル大統領の手堅い経済運営などから堅調に推移していたブラジル金融市場ですが、同大統領の汚職疑惑の影響から、5月中旬、通貨、株式、債券が急落しました。しかしその後は、同大統領の裁判が回避され政治的な不透明感が後退したことや、景気回復への期待感などから回復基調が続いています。

ただ、足元のブラジルレアル（以下レアル）は、米国の金利上昇などを背景に、対米ドルではやや軟調に推移しています。10月25日の海外終値は1米ドル = 3.2348レアル、1レアル = 35.16円となっています。

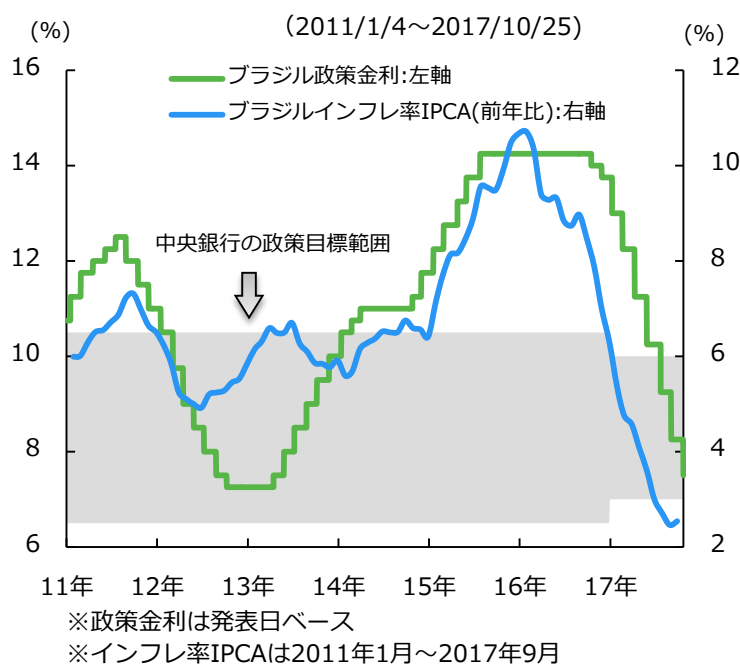
<今後の見通し>

BCBは景気支援のために利下げを行ってきましたが、景気に回復傾向が見られることから、利下げは次回の会合で終了される可能性があります。

好調な米国の経済指標を受け、米FRBが金融引き締め姿勢を強めており、今後も米ドル高傾向になると予想されるため、新興国通貨の上値は重い展開が予想されます。

ただ、ブラジルレアルはこれまでの利下げによる国内の景気回復に加え、利下げを実施してもなお相対的に高いブラジルの金利水準がレアル相場を下支えするものと見込んでいます。

<政策金利とインフレ率の推移>



<ブラジルレアルの推移>



出所：Bloomberg

お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大1.24200%（但し、最低2,700円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては、現地諸費用等を別途いただくことがあります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格等の変動による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の30%以上で、かつ30万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 債券を募集・売出し等により、又は当社との相対取引により売買する場合は、その対価（購入対価・売却対価）のみを受払いいただきます。円貨建て債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。外貨建て債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、債券の発行者または元利金の支払いを保証する者の財務状況等の変化、およびそれらに関する外部評価の変化等により、損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および運用管理費用（信託報酬）等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式、外国債券の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。

商号等：大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会